トラック運送事業における情報通信機器等の活用に関する調査 概要

調査方法

(1)調査方法

都道府県トラック協会推薦事業者(954社:郵送)

青年部会関係者(551社:メール)

合計1505社へ郵送、メールを活用しアンケート用紙を送付し回収。

- (2)調査期間 平成25年12月5日~平成25年12月25日
- (3) 回収件数 447社(回収率30%)

(うち都道府県ト協推薦事業者301社、青年部会146社)

調査結果概要

≪①情報化に関する二一ズ≫

(1)今後導入したいと考えるIT関連機器(回答数順) (2)今後ITを導入したい業務(回答数順)

①ドライブレコーダー (56%)

①車両追跡・動態管理(20%)

②IT点呼 (40%)

②エコ運転管理 (13%)

③GPSナビ (26%)

③安全管理(12%)④配車業務(12%)

④デジタコ (20%)

⑤ホームページの開設・運用(19%)

⑤受注管理 (10%)

(3)トラック協会に期待する情報化支援策(回答数順)

- ①トラック運送事業者向け業務管理ソフトウェアの開発・提供(63%)
- ②最新の機器等とその活用方法の紹介

(59%)

③先進的な情報化導入効果の事例紹介

(52%)

(51%)

④ITを活用した教育訓練用の教材提供 ⑤わかりやすいIT導入ガイドの配布

(45%)

⑥ITセミナー、展示会等の開催・案内

(28%)

(4)IT導入の参考になる事例(回答数順)

- ①輸送品目別(鋼材、精密機械、生鮮食品、医薬品、産業廃棄物、引越など) (48%)
- ②車両別(小型、中型、大型、特種、トレーラなど)

(47%)

③車種別(平ボディ、ウィング車、冷凍冷蔵車、コンテナ車、タンクローリーなど)(47%)

④地域別(ブロック別、都道府県別など)

(39%)

≪②セミナーの実施に関する要望≫

(1)ITセミナーの実施方法(回答数順)

(2)セミナー開催場所(回答数順)

①平日開催(6割強)

①支部単位(6割弱) ②本部単位(4割弱)

- ②土曜開催(2割強)
- (3)セミナー実施方法(回答数順)
 - ①講義方式での実施(7割強)
 - ②インターネット配信(2割)